

## 第2回新公立岩瀬病院改革プラン評価委員会会議録（概要）

- I. 日時 平成30年7月25日（水）  
13:30～14:10
- II. 場所 公立岩瀬病院 外来棟会議室（3階）

### III. 出席者

#### 【委員】（7名）

須賀川市社会福祉協議会会長	溝井正男
須賀川医師会会長	高橋清二
須賀川歯科医師会会長	田代直也
須賀川青年会議所理事長	相楽祐也
須賀川市健康づくり推進員会会長	相楽栄子
天栄村国民健康保険運営協議会会長	小針光治
玉川村国民健康保険運営協議会会長	八木喜久夫
（欠席委員2名）	
須賀川薬剤師会会長	細井正彦
鏡石町健康推進員会会長	皆川桂子

#### 【公立岩瀬病院企業団】（6名）

企業長	伊東幸雄
院長	三浦純一
副院長兼看護部長	安達恵美子
事務長	塩田 卓
参事兼医事課長	有賀直明
総務課長	福田和也

#### IV. 会議次第

##### 1. 開会（総務課長）

##### 2. 企業長あいさつ

本日は、第2回公立岩瀬病院新改革プラン評価委員会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。

当評価委員会は平成29年から平成32年度までの4ヶ年計画の病院運営指針である「公立岩瀬病院新改革プラン」について、進捗状況の確認と評価、並びに今後の病院運営のあり方などについてご意見やご提言をいただき、今後の着実な計画実施と病院経営の改善を図る目的で設置したものであります。

本計画は今年度で2年目を迎えており、今回は計画の初年度である平成29年度の状況についてご報告申し上げますこととしています。

協議に先立ちまして報告内容について主なものを申し上げます。

先ず、現在の医師体制ですが、常勤医師に換算して26名体制、加えて初期研修医5名の31名体制となっております。年度当初は32名体制でありましたが、今年度着任した初期研修医1名が、自己都合により5月末日をもちまして当院での臨床研修を中断したため、7月現在は31名体制となっております。医師体制については本年度末での目標値を34名としているため、福島県立医科大学への医師派遣要請や紹介会社の活用など、引き続き常勤医師の招聘活動を続けて参ります。

次に平成29年度の病院運営ですが、昨年4月にオープンした産科婦人科診療棟、通称南棟と呼んでおりますが、開設以来当初の想定を超える分娩取扱い件数となりました。

平成29年度中の分娩件数は540件にのぼり、今年度も6月末時点で150件を超え、昨年を上回るペースで推移しています。

次に病床稼働率についてですが、南棟を除く既存病棟である240床について申し上げますと、目標とした83.3%には届かなかったものの、82.3%と平成28年度を1.8ポイント上回る実績となりました。これは平成28年8月の地域包括ケア病棟運用開始を契機としたきめ細かな病床管理など病院全体での取り組みにより、病床稼働率が向上したものと考えております。

医療機能等指標に係る数値目標においては、手術件数が目標値の1,200件を

168件上回る1,368件、内視鏡検査においても目標値を141件上回る2,591件の実績となっています。また、今年度の診療報酬改定を受け、各部門において診療報酬の算定に一層習熟するため医事課主催の職員向け院内研修会を開催するなどの取り組みも強化しております。

これらの結果、平成29年度における入院患者数は79,087人（対前年比8,529人増）となり、外来患者数も89,473人（対前年比14,683人増）となりました。産科婦人科（南棟）分を除いても入院患者数72,088人（対前年比1,530人増）、外来患者数も78,082人（対前年比3,292人増）となり既存診療科においても患者数を増やすことが出来ました。これに伴う収益についても入院収益の見込額は34億9千3百33万円余りとなり、対前年比5億7千2百66万円余りの増額となりました。また、外来収益についても11億6千3百47万円余りとなりこちらも対前年度比2億7百82万円余りの増額となったところです。

これらの診療実績を受け、経営指標については、医業収支と医業外収支の合計である経常収支比率が目標値の96.4%を上回る101.7%、このうち病院事業の本体である医業収支比率についても目標値である97.9%を上回る98.6%となるなど目標値を達成することが出来ました。

平成30年度も稼働開始後2年目となる南棟や、本館病棟そして整備した高度医療機器を最大限活用し、一層良質な医療の提供に努め安定的な病院運営を目指して参ります。

今後とも、地域の基幹病院としての役割を果たすべく地域医療連携を強化し、地域の皆様からより一層信頼される病院づくりを進めて参りますので、委員の皆様方におかれましてもご支援ご指導をお願い致します。

詳細については事務局から説明させますが、委員の皆様方には忌憚のないご意見をお願い申し上げ、あいさついたします。

### 3. 議題

#### (1) 新公立岩瀬病院改革プラン進捗状況報告（事務長）

資料 新公立岩瀬病院プラン進捗状況報告書

#### (2) その他

**【質疑・意見等】**

○委員：紹介率、逆紹介率について、かなり努力をされているように見受けるが、改善が見られない様に思われます。どのように評価し、どう改善されるのか伺いたい。

●当局：紹介率、逆紹介率を上げるには、紹介患者数を増やすことが求められます。

紹介率の計算には、新規患者数が分母に用いられるので、新規患者数が増えると紹介率が下がります。特に、産科婦人科開設に伴い、紹介ではない新規の患者（妊婦）さんが増えております。また、小児科の患者さんについても同様の状況となっており、紹介率としては、伸び悩んでいるのが現状です。

病床稼働が上がってくると、連携している開業医の先生方からの当日紹介入院が受けられないケースが発生しています。入院日について、ある程度当方でコントロールできると、受け入れられるケースもあるようなので、そのあたりの工夫ができれば、紹介率を上げることができると考えています。

○委員：平成29年度の実績については、概況にあるように、一部を除いては目標達成しているようで、評価できると思います。

医療費の個人負担分について、年間どの程度未収金になっているか伺いたい。

●委員：現時点の未収金の累積額は、7千万円余りとなっております。

平成29年度1年間では、1千万円余りの未収金が発生しており、そのほとんどは翌年度に回収になりますが、一部回収できないものが発生しております。7千万円は、そういったものが、昭和の時代から積み上がったものとなっております。

未収金については、債務者が支払わないという意思表示をしてから3年で時効となりますので、回収については、他の医療機関の取り組み等も参考にしながら、積極的に取り組んでおります。

○委員：自賠責等の保険の未収金も発生しているか伺いたい。

●当局：概ね請求から約2ヶ月後の支払いとなるので、その間は未収金として計上しております。

○委員：在宅部門の訪問看護についてですが、対前年16.9%増となっているが、看護師の負担はどのようなものか伺います。

●当局：訪問看護のスタッフは2名増の7名としており、訪問件数は着実に増えております。職員の負担としては、車での移動（悪天候、積雪等）が多少負担となっているようです。看護業務については、特に問題ないようです。

24時間看取り等にも対応しており、出来る限り在宅で過ごせるよう積極的に取り組んでおります。

また、在宅医療については、看護師だけではなく、多職種で連携して取り組んでいます。先日は、天栄村の独居老人を、当院の口腔嚥下センター職員・看護師、ケアマネージャー、ヘルパー、村の職員と一緒に訪問し、ケアを行いました。

そういった多職種での連携が、訪問看護件数の増につながっていると考えております。

○委員：実績を拝見し、良い成績になっていることが確認でき、我々としても安心しております。

医師招聘活動の具体的な取組として、精神科医の招聘活動とあるが、どのような目的なのか伺います。

●当局：現在、心療内科については、須賀川医師会の先生にご支援いただいておりますが、産科婦人科開設により、妊婦さんや産後の育児の不安のある方や、場合によっては赤ちゃんを保護する必要があるケース等が発生しており、そういった方に対応するためには、精神科領域の医師が必要となっております。

現時点では、常勤で招聘するのは難しいですが、他院との連携や臨床心理士等にも支援いただき、精神科領域の疾患をもった方に対応したいと考えております。

#### 4. 閉会